

2021年10月21日リリース Mist 新機能のご紹介

ジュニパーネットワークス株式会社

JUNIPER 
driven by Mist AI

はじめに

- ❖ 本ドキュメントは以下のリリースノートを抄訳したものです

<https://www.mist.com/documentation/october-21st-2021-updates/>

- ❖ 本ドキュメントは2021年10月時点のMist cloudのGUIを使用しております
- ❖ 実際の画面と表示が異なる場合がございます
- ❖ 内容について不明な点、ご質問等ございましたら担当営業までお問い合わせください

本リリースで追加された機能一覧

Marvis

- Actions - キャパシティ不足の検知
- 認証失敗検知時の表示内容の詳細化
- 会話型アシスタントのサポート対象範囲にゲートウェイを追加

Wired Assurance

- スイッチの交換機能
- スタティックルート設定機能のGA化

Mist Edge

- ステータス表示の改善

Marvis

Actions – キャパシティ不足の検知

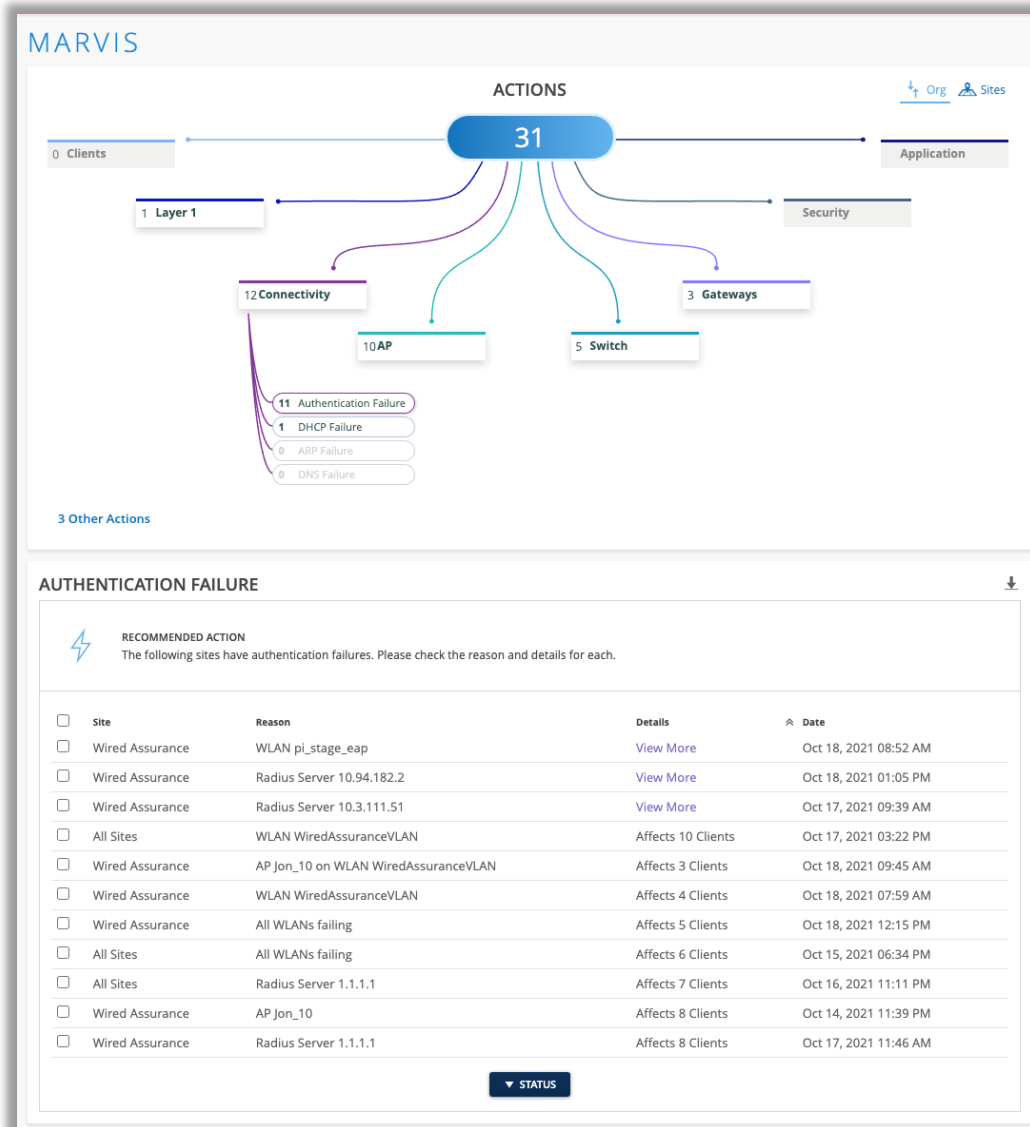
The screenshot displays the MARVIS Actions interface. At the top, a tree view shows 23 actions categorized under Clients, Layer 1, Connectivity, AP, Switch, Gateways, Security, and Application. The 'Insufficient Cap...' action is highlighted in red. Below this, a section titled 'INSUFFICIENT CAPACITY [BETA]' provides a recommended action: 'The following APs have reduced capacity. Please check the corresponding reasons to improve the capacity.' A table lists the affected APs:

Site	APs	Details	Date
Live Demo	LD_Marvis	5 GHz View More	Oct 17, 2021 10:42 AM

Below the table is a 'STATUS' dropdown menu. The bottom part of the screenshot shows a floor plan titled '01 - Office' with a map view of the impacted AP. A legend on the right lists the status of APs: Primary Impacted APs (LD_Marvis), Impacted Neighbor APs (LD_Kitchen), and Unaffected APs. A 'Selected Access Point' window shows details for LD_Marvis, including its MAC address and supported clients.

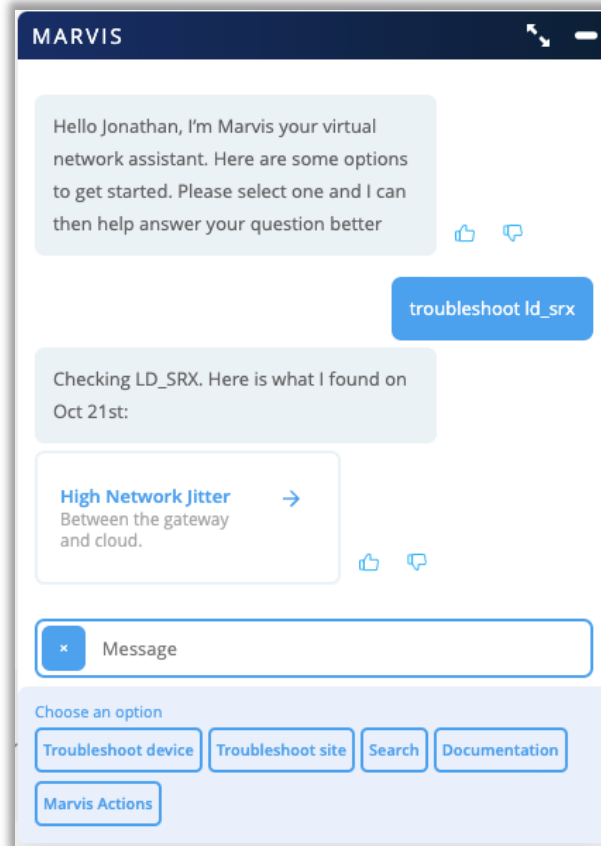
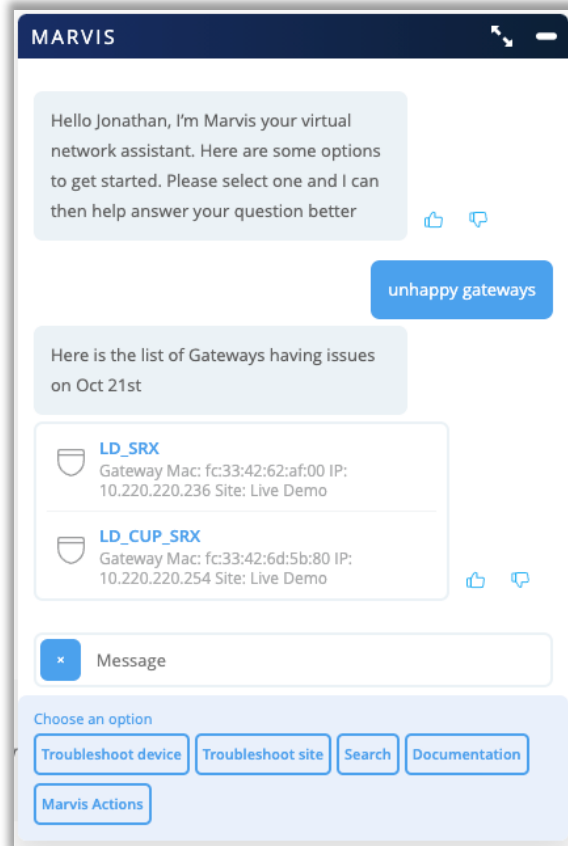
- 本リリースよりMarvis ActionのAPカテゴリ配下にキャパシティ不足 (Insufficient Capacity)が追加されました
- 本機能により無線リソースが不足しているAPを能動的に検知することが可能になります
- Actionの“view more”をクリックするとマップビューが開き、問題のあるAPの場所がわかります

認証失敗検知時の表示内容の詳細化



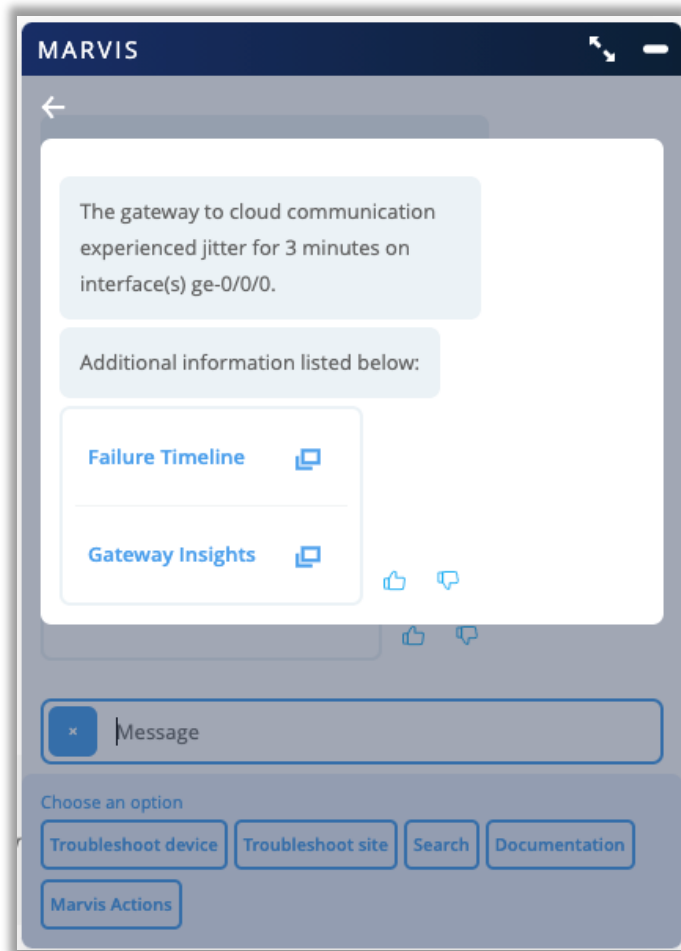
- 認証失敗カテゴリのActionダッシュボードに記載される内容がより詳細になりました
 - 認証失敗の発生が始まった時刻
 - 影響を受けているクライアント数
 - 認証に失敗している理由
 - 認証失敗のスコープ(サイト全体、特定のAPなど)

会話型アシスタントのサポート対象範囲にゲートウェイを追加



- 本リリースよりMarvis対話型アシスタントでゲートウェイの状況を確認することができるようになりました
- 以下の質問がサポートされます
 - “how is <gateway>”
 - “troubleshoot <gateway>”
 - “unhappy gateways”

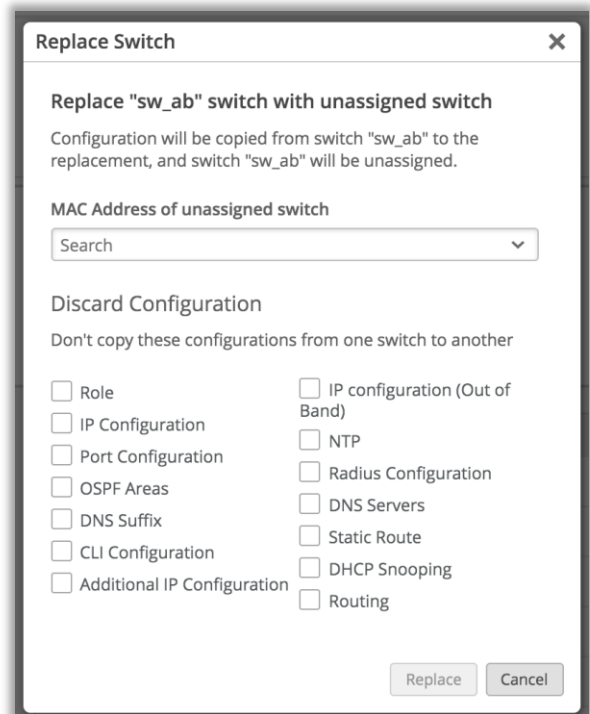
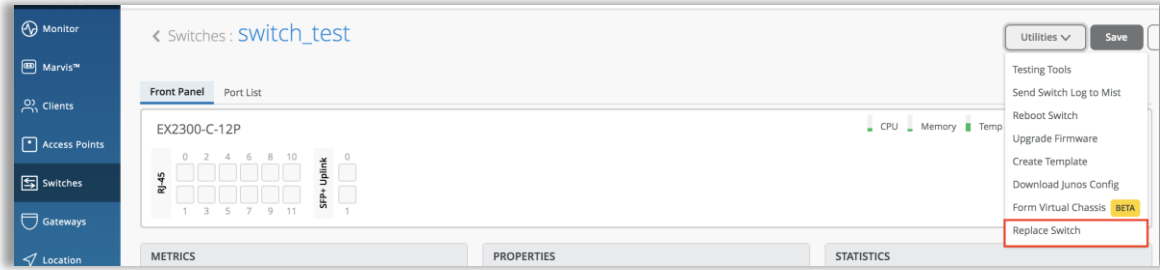
会話型アシスタントのサポート対象範囲にゲートウェイを追加(続き)



- 左の画面で“Failure Timeline”をクリックすると該当するWAN SLEのページが開きます
- “Gateway Insights”をクリックすると該当するゲートウェイのインサイトページが開きます

Wired Assurance

スイッチの交換機能



- 本リリースより、APのリプレイス機能と同様に、設定情報を維持したままスイッチのハードウェアを交換することができるようになりました
- これを行うと、既存のすべての設定内容が新しいスイッチに転送されるため、ネットワークトポロジが変更されることはありません
- 本機能はスタンドアロンスイッチでのみ使用可能です
- 本機能には、インベントリリストに未アサインのスイッチが存在している必要があります
- スwitchの詳細ページのユーティリティメニューから“Replace Switch”を選択します
- これにより、[スイッチのリプレイス]モーダルが開き、[MACアドレス]ドロップダウンメニューから置換するスイッチを選択します
- **[Discard configuration]**セクションで、新しいスイッチにコピーしない構成を選択し、選択が完了したら、**[Replace]**ボタンをクリックして手順を終了します
- 古いスイッチは、終了すると未アサイン状態に移行し、新しいスイッチに置き換えられます
- 詳細は以下のページをご参照ください

<https://www.mist.com/documentation/replace-switch/>

スタティックルート設定機能のGA化

STATIC ROUTE **BETA**

* Site or Template Defined

Edit Static Route ✓ ✕

Subnet Network

Destination

35.45.6.0/24
IP address (xxx.xxx.xxx.xxx/xx)

Next Hop

120.3.4.6
IP address (xxx.xxx.xxx.xxx)

STATIC ROUTE **BETA**

* Site or Template Defined

Edit Static Route ✓ ✕

Subnet Network

Network

v543_sw_level 543 ✓

Next Hop

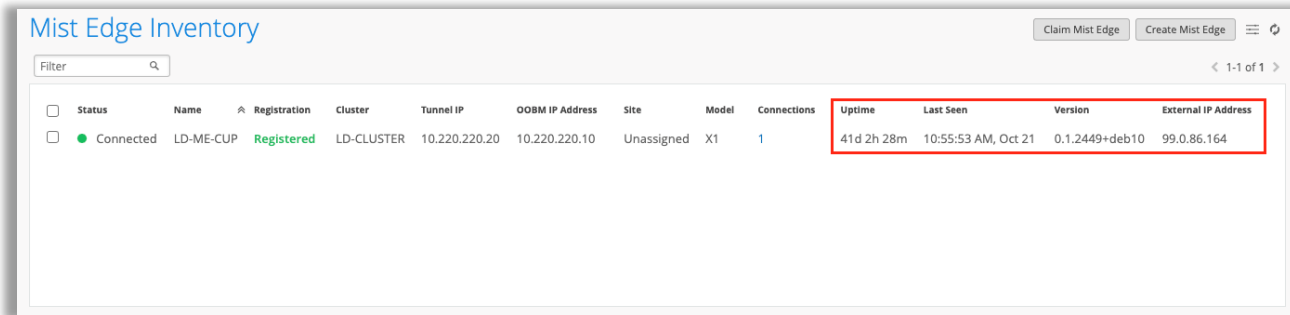
192.5.6.7
IP address (xxx.xxx.xxx.xxx)

- 本リリースより、スタティックルート設定機能がベータ版から正規版として使用できるようになりました
- 設定方法等詳細は以下のページをご参照ください
- <https://www.juniper.net/content/dam/www/assets/additional-resources/jp/ja/2021-1/2-05-configuration-switch-static-route-setting.pdf>

Mist Edge

ステータス表示の改善

- Mist Edgeのインベントリページに表示される情報が追加されました
- 追加された内容は以下のとおりです
 - バージョン
 - 稼働時間
 - 外部IP
 - 最終確認時刻



Mist Edge Inventory

Filter

Claim Mist Edge Create Mist Edge

Status	Name	Registration	Cluster	Tunnel IP	OOBM IP Address	Site	Model	Connections	Uptime	Last Seen	Version	External IP Address
Connected	LD-ME-CUP	Registered	LD-CLUSTER	10.220.220.20	10.220.220.10	Unassigned	X1	1	41d 2h 28m	10:55:53 AM, Oct 21	0.1.2449+deb10	99.0.86.164

Thank you

JUNIPER 
driven by Mist AI